

文部科学省 令和元年度委託事業

「幼稚園の人材確保支援事業」

実 施 報 告 書

令和2年3月

一般社団法人福岡県私立幼稚園振興協会

目次

I 「幼稚園の人材確保支援事業」実施概要

- 1 調査研究の趣旨
- 2 調査対象
- 3 実施事業に係るスキーム

II 「幼稚園の人材確保支援事業」事業実施結果及び分析結果

1 再就職支援研修会の実施及び受講推進態勢の構築

ア.再就職支援研修会の実施

- ①実施対象と目的
- ②実施内容(再委託事業者からの報告)
- ③実施結果と効果
- ④今後の課題

2 潜在幼稚園教諭等の掘り起こし及び円滑な就労支援

ア.「幼稚園ナビ」の利用拡大

- ①実施対象と目的
- ②実施内容(再委託事業者からの報告)
- ③実施結果と効果
- ④今後の課題

イ.ICTを活用した幼稚園免許状更新講習増設等のためのインフラ構築

- ①実施対象と目的
- ②実施内容
- ③実施結果と効果
- ④今後の課題

3 平成 30 年度実施「離職防止・定着促進」調査研究事業の振り返り

ア.平成 30 年度実施「資格取得研修会」参加者への追跡調査による効果測定

- ①実施対象と目的
- ②実施内容
- ③実施結果概要
- ④今後の課題

III 「幼稚園の人材確保支援事業」を実施して

I 「幼稚園の人材確保支援事業」実施概要

1 調査研究の趣旨

近年の社会情勢を踏まえた保育施設の急増等によって、幼児教育の現場は深刻な人材難に陥っており、施設間での人材の取合いが発生している。併せて幼稚園教諭養成校の学生数も年々減少しており、新卒者だけでは人材の確保が困難な状況にある。

このため、潜在する幼稚園教諭の掘り起こしに向けた抜本的な対策が必要となってきたことから、令和元年度の事業では、これまでの「離職防止・定着促進」調査研究の効果を検証しつつ、「離職者の再就職促進」事業に取り組む。

(1) 再就職支援研修会の実施及び受講推進態勢の構築

① 再就職支援研修会の実施

・幼稚園教諭として働くことの魅力を発信するとともに、教員免許状更新制度や具体的な再就職方法、幼稚園での多様な働き方等の説明により、再就職希望者の不安を軽減し、円滑な再就職に繋げる。

(2) 潜在幼稚園教諭等の掘り起こし及び円滑な就労支援

② 幼稚園ナビの利用拡大

・潜在幼稚園教諭が再就職するためには、幼稚園免許が必要であることから、「幼稚園ナビ」を活用した教員免許状の管理アプリとしての利用を促進するとともに、求人募集サイトとしての利用拡大を図るため、幼稚園ナビのPRを推進する。

③ ICTを活用した幼稚園教諭免許状更新講習増設等のためのインフラ構築

・教員免許状更新講習者の増加、並びに勤務地等の近隣にいながら遠隔地の研修会等を受講できる態勢を、ICTを活用したインフラを構築する。

(3) 平成 30 年度実施「離職防止・定着促進」調査研究事業の振り返り

④ 平成 30 年度実施「資格取得研修会」参加者への追跡調査による効果測定

・昨年度の本事業で実施した研修会受講者の研修内容の活用状況並びに研修会が離職防止に繋がったかどうかを追跡調査する。

2 調査対象

以前幼稚園に勤務し、結婚・子育て等により幼稚園を離職した者を中心に調査を行うほか、保育士の資格を持つ者や幼稚園教諭を目指す者も対象に含める。

幼稚園の人材確保支援事業に係るスキーム

背景

新卒者だけでは人材の確保が困難な状況にあることから、潜在する幼稚園教諭の掘り起こしが必要となってきた。

実施事業

①再就職支援研修会の実施

②「幼稚園ナビ」の利用拡大

③ICTを活用した講習増設のためのインフラ構築

④資格取得研修会参加者への効果測定

結果

- ①メインイベントや個別相談ブース等が一部中止となったものの、パネル展示や再就職応援動画放映を実施した。
- ②「幼稚園ナビ」の新規登録者は1,132名に達し、所期の目標を大幅に上回り、広く再就職希望者に周知できた。
- ③本会場での研修会の講義内容をサテライト会場で同時中継できるよう、ICTを活用したインフラを構築できた。
- ④取得された資格により、プロとしての自覚が向上し、今後とも幼稚園教諭を続けたいとの意見が多かった。

成果

○中止となったものの、個別相談ブースを設けるなど、個別具体的相談に対応できる態勢を構築した。
○「幼稚園ナビ」への新規登録者が所期の目標を大幅に上回った。
○ICTを活用したサテライト研修会開設のためのインフラを構築した。

課題

○講演等の一過性のものではなく、常に再就職希望者へのフォローができるような態勢づくりが必要
○幼稚園教諭の魅力ややりがいを広く中・高校生にPRし、養成校に入学する学生を増やすことも必要

Ⅱ 「幼稚園の人材確保支援事業」事業実施結果及び分析結果

1 再就職支援研修会の実施及び受講推進態勢の構築

ア.再就職応援研修会の実施

① 実施対象と目的

- 実施対象:幼稚園への再就職を希望する方等
- 目的:潜在幼稚園教諭の掘り起こしだけでなく、広く一般に幼稚園教諭として働くことの魅力を発信するとともに、具体的な再就職方法や教員免許状更新制度等の説明により、再就職希望者の不安を軽減し、円滑な再就職促進に繋げることを目的とする。

② 実施内容

- 開催期日:令和2年2月22日(土)10:00~20:30
- 開催場所:ソラリアプラザ 1階 イベントスペース ゼファ
- 目標:複数のコンテンツを用いて幼稚園教諭として働くことの魅力を発信するとともに、具体的な再就職方法や教員免許状更新制度等の説明・個別相談等により、再就職希望者の不安を軽減し、円滑な再就職に繋げる。(参加目標数 100名)
- 実施内容:
 - a)メインイベント(11:00~12:30)
 - ・スペシャルトーク 題材「仕事を通してなりたい自分に」
 - ・講師 斉藤ふみさん
 - ・子育てや仕事で輝く秘訣などについて講演
 - b)お役立ち情報トーク「幼稚園で働く魅力」
 - ・幼稚園教諭のやりがいなど、幼稚園で働くことの魅力を発信
 - ・多様な勤務形態など、幼稚園での多様な働き方を紹介
 - ・教員免許状更新制度を紹介
 - c)個別相談ブース
 - ・再就職希望者の個別具体的な相談に対して、幼稚園の園長先生が対応
 - d)パネル展示
 - ・展示パネルの内容は、6ページ参照
 - e)再就職応援動画放映

※新型コロナウイルス感染症の拡大により、県内でも感染者が確認されたことから、a)メインイベント・b)お役立ち情報・c)個別相談ブースについては中止し、パネル展示及び再就職動画放映のみの実施とした。

③ 実施結果と効果

- ・商業施設のオープンスペースで実施したことにより、再就職希望者だけでなく不特定多数の人に見てもらうことができ、広く幼稚園で働くことの魅力を発信することができた。(当該スペースの休日通行人数は約7万人)
- また、イベントへの来場者にアンケートを行ったが、回答者の中には幼稚園教諭が人材不足であることを知らなかった人も存在し、県民の方々に幼稚園における人材不足を知ってもらうことができた。
- ・展示パネルにおいては、展示するコンテンツを見る人の目に留まり易いように工夫した結果、昨年度作成した再就職に係るロールモデル漫画やAI時代でも生き残る職業についてのパネルに人々の視線がくぎ付けになっていた。再就職に係る漫画は将来の幼稚園教諭に就くかもしれない子ども達が、また、AI時代にも生き残る職業についてのパネルは、サラリーマンやお父さん達に見られており、幼稚園教諭の人材不足について効果的なPRになったと思われる。
- ・チラシ配架に当たっては、会員園はもとより、行政・ハローワーク・他私学団体・養成校・私立高校・地元企業等の協力により、約9.2万枚を配布した。YouTube 広告動画は、幼稚園教諭魅力発信動画サイトに表示されるイベント告知をクリックすると、申込フォームに繋がるようにした。動画は約6.7万回の再生(2パターン合計)があり、イベント申込フォームには785回のアクセスがあった。
- ・新型コロナウイルス感染症によるイベントの一部中止にも拘わらず、複数の再就職希望者からの問い合わせがあり、また、イベントが一部中止されたことを知らずに会場に来場された再就職希望者も存在し、会場におられた園長先生に熱心に質問されるなど、潜在的需要があることが確認された。
- ・このことから、メインイベントや個別相談ブース等を中止していなかったら、多数の再就職希望者が相談に来場し、幼稚園への再就職に繋がった可能性が高かったと思われる。

④ 今後の課題

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、イベントの一部が中止となったため、把握することは困難であるが、イベントへの参加者のうち、何人の方が幼稚園教諭として再就職されたかについて把握する仕組みづくりも必要である。
- ・潜在的幼稚園教諭の掘り起こしも必要ではあるが、幼稚園教諭養成校に入学する学生等が減少してきていることから、幼稚園教諭の魅力ややりがいを広く中・高校生にPRし、幼稚園教諭養成校に入学する学生を増やす手法を検討することは大変重要なことである。
- ・再就職希望者は、教員免許更新制度の詳細や幼稚園ナビの登録及び活用方法、具体的な求人案件などについて、個々人の状況に応じたきめ細やかなフォ

ローを求めていることが分かった。このため、全体向けの研修会（講演）も必要ではあるが、中止にはなったものの、個別相談ブースを設けるなど個別具体的な相談に対応できる態勢を整えたことで、再就職希望者のニーズに応じて丁寧な対応ができることとなった点が良かった。

（※個別相談ブースは新型コロナウイルスによる感染症拡大に伴い中止したが、来場者からの質問に個別対応することや、積極的に話しかけるなどの丁寧なコミュニケーションを重視することとした。）

・ 今後は、研修会（講演）等の一過性のものではなく、常に再就職希望者へのフォローができるような態勢を整えることの必要性が感じられた。

【展示パネルの内容】

○主催団体に関すること

県協会紹介 →下表①

幼稚園・認定こども園紹介 →下表②

○幼稚園で働く魅力に関すること

・テーマ「幼稚園で働く魅力」

魅力その① 多様な働き方 →下表③

魅力その② 充実の福利厚生 →下表④

魅力その③ 子育てママも働きやすい →下表⑤、⑥

魅力その④ 高い専門性（幼稚園教諭） →下表⑦、⑧、⑨

・その他 →下表⑩

※紙枚数・使用パネル数（両面使用）は目安

	内容		紙枚数	使用パネル
①	県協会紹介	会員園一覧（地区別）含む	4	2
②	幼稚園・認定こども園紹介			
③	幼稚園での多様な働き方	幼稚園で働く方の職種を紹介	1	1
④	充実の福利厚生	私学共済紹介	1	
⑤	ママ先生情報	※詳細は別紙企画書参照	13	7
⑥	ママ先生座談会記事		1	
⑦	教員免許状更新制		3	2
⑧	幼稚園ナビ	免許期限管理登録	1	
⑨	幼稚園教諭の今後	野村総研リリース文より引用	1	2
⑩	ロールモデル構築マンガ (H30 成果物)		—	
合計			—	14

【イベントの一部中止を告知】



【展示されたパネル】



Ⅱ 潜在幼稚園教諭等の掘り起こし及び円滑な就労支援

ア.「幼稚園ナビ」の利用拡大

① 実施対象と目的

- 実施対象:再就職を希望する潜在幼稚園教諭等
- 目的:潜在幼稚園教諭が再就職するためには、幼稚園教諭免許状が必要であることから、「幼稚園ナビ」を教員免許状の管理アプリとして利用の促進をすることを目的とする。

② 実施内容

- 目標:幼稚園免許期限管理という新たな「幼稚園ナビ」の活用方法を周知し、新規登録 750 件を目標とした。
- 実施内容
 - a)「幼稚園再就職応援チラシ」の配布
 - ・チラシの内容には、読者の幼稚園再就職を促進するため、実際に幼稚園教諭として復職・復帰をしたママ先生によるリアルな体験談（幼稚園のママ先生 Tea Time Talk）、ママ先生の一日のタイムテーブルや、「扶養の範囲」についての豆知識等の記事を掲載した。
 - ・チラシの内容には、ママ先生記事を読み幼稚園への再就職を希望する方にアプローチするため、「幼稚園再就職応援イベント」の広告を掲載した。
 - ・チラシ配架にあたっては、会員園はもとより、行政・ハローワーク・他私学団体・養成校・私立高校・地元企業等との連携を図ることにより、広く県民に周知した。

b)YouTube 広告動画配信

- ・YouTube 広告動画は、平成 30 年度実施「ロールモデル構築コンテンツ制作」成果物を活用し、2 作品（A「今も昔も私らしく」B「憧れの先生」）を制作した。
- ・YouTube 広告動画 2 作品の内容は異なるが、いずれも潜在幼稚園教諭が幼稚園教諭を目指したときの気持ちを思い出させるような内容となっている。

③ 実施結果と効果

- ・幼稚園ナビの利用拡大に向け、チラシを福岡県や福岡市の公共施設並びに展示会場等に配架してもらい、広く県民にPRを行ってもらったとともに、福岡県のホームページにチラシをアップしてもらったなどを行った結果、新たな登録者は1,132人増加し、所期の目標であった新規登録者

750名を大幅に上回り、大きな成果が得られた。

- ・昨年度に作成したロールモデル漫画を実写化し、YouTube 広告動画の配信を行った結果、再生回数は約6万7千回にのぼり、多くの視聴者に見てもらうことができ、幼稚園教諭の人材不足について広く県民に周知することができたと考える。

- ・2つの動画のうち、「憧れの先生」の視聴率が高かったことから、3月以降は「憧れの先生」に絞って配信するとともに、配信のターゲットを変更し、幼稚園ナビへの登録を促した。

④ 今後の課題

- ・まだ幼稚園ナビの存在自体が知られていない状況であることから、さらに利用促進を図るためのPRを行う必要がある。特に、幼稚園ナビが求人情報サイトとしての機能を有していることが、就職を希望する者の間でもあまり知られていないので、この点を重点的かつ継続的にPRしていくことが重要である。

- ・幼稚園ナビのPRチラシを、幼稚園ナビを活用する可能性が非常に高い幼稚園教諭養成校の学生や免許状更新講習の受講者に配付することも必要である。

- ・研修会や講演等の一過性のものではなく、継続的に再就職希望者等に最新の求人募集情報の提供が可能となるようなツールの構築づくりが大変重要となってくる。特に、もっと多くの人々に幼稚園教諭の求人募集情報は、幼稚園ナビを見れば分かると思われるようなツールへの構築が必要である。

【幼稚園ナビのPR】



【幼稚園教諭PR漫画その1】



【幼稚園教諭PR漫画その2】



【YouTube 広告動画（憧れの先生）の放映】



【YouTube 広告動画の撮影風景その 1】



【YouTube 広告動画の撮影風景その 2】



イ. ICTを活用した幼稚園教諭免許状更新講習増設等のためのインフラ整備

① 実施対象と目的

○実施対象：幼稚園教諭

○目的：教員免許状更新講習受講者増加に対応するためのインフラを構築することを目的とする。

② 実施内容

○目標：再就職応援イベント及び幼稚園ナビ利用拡大により懸念される教員免許状更新講習受講者増加に対応するためのインフラ構築（サテライト会場での開講）を実施し、令和2年度からの運用を目指す。また、インフラ構築により勤務地等の近隣にいながら遠隔地の研修会等を受講できる態勢を構築することで、ICTを活用した負担軽減を促進する。

○実施内容：

・複数の研修会にて試運転を実施。

1回目：映像録画および配信（会場の都合上、同時配信は困難であったため後日配信）のテストを実施。

2回目：サテライト会場（研修会別会場）への同時配信および個人のタブレット端末（スマートフォン等）での視聴テストを実施。

3回目：2回目で判明した課題等を整理した上で、サテライト会場（研修会別会場）への同時配信および個人のタブレット端末（スマートフォン等）での視聴テストを実施。

4回目：「幼稚園定着支援調査研究委員会」の委員の方々にサテライト会場における同時中継の状況確認や意見をいただくことにより精度の高いインフラ構築を進めた。

③ 実施結果と効果

・広報委員会にICT関係に専門的知識を有する情報専門員を加えたことにより、サテライト会場での研修会の同時中継が可能なインフラ構築が格段と進み、4回に亘る試運転を行い、遠隔地のサテライト会場での研修会の開催も可能な状態までインフラ構築を進めることができた。

・動画配信プラットフォーム「ビデオグ」を活用したことで、関係者のみが動画視聴できるようになり、サテライト会場での受講だけにとどまらず、個人のタブレット端末においても視聴が可能となった。

・未だ、試験段階であるが、研修会の内容を本会場とサテライト会場の2か所で同時中継を行うことができたのは、大きな成果であり、一会場を受講生が定

員を超える場合や会場が遠隔地のため出席できない場合など、サテライト会場での同時中継を行うことができる目途がたった。

※サテライト研修運用マニュアルについては、別添資料

④ 今後の課題

- ・数回に亘り試験的に研修会を開催するなどの取組みを行い、サテライト会場での研修会等が円滑に運営されたのを見届けて、本格的にサテライト会場での研修会での運用を開始すべきである。特に、幼稚園教諭免許状更新講習の開催に当たっては、留意が必要である。
- ・幼稚園教諭免許状更新講習や研修会等を開催できる態勢は構築できたが、研修会の開催に当たっては、研修スタンプの発行を伴うため、受講者がサテライト会場での研修会の受講の有無を確認することが非常に重要となってくる。このため、研修会受講の確認に当たっては、県協会の教育研究委員会の委員の先生方に支援していただくなどの工夫が必要である。
- ・本会場での研修会の講義内容をサテライト会場で同時中継する場合、講師の講演とパワーポイントの2つの映像を一つのスクリーンに映写できるようになったが、2つの映像の兼ね合いが難しく、講義を分かりやすくするための工夫が必要である。
- ・サテライト会場での同時中継による教員免許状更新講習を開催する場合、講師が最終的に試験の採点を行う必要があり、その定員によっては講師に過度の負担をかけることも考えられるので、講師との十分な打ち合わせを行う必要がある。

【サテライト会場での同時中継】



【幼稚園定着支援調査研究委員会をサテライト会場とした同時中継】



Ⅲ 平成30年度実施「離職防止・定着促進」調査研究事業の振り返り

ア.平成30年度実施「資格取得研修会」参加者への追跡調査による

事業効果測定

①実施対象と目的

- 実施対象:平成30年度「資格取得研修会」参加者
- 目的:当該研修会を受講したことによって、若手職員の離職防止・定着促進に繋がったかどうかの効果を測定の測定を目的とする。

②実施内容

- 実施時期:平成30年11月～12月
- 発送回収方法:加盟園を通じ、研修会参加教諭にアンケート調査票を配布。
研修会参加教諭から直接協会にインターネットによる回答。
- 対象人数:63名
- 回収人数:33名
- 有効回収率:52.3%

③実施結果概要

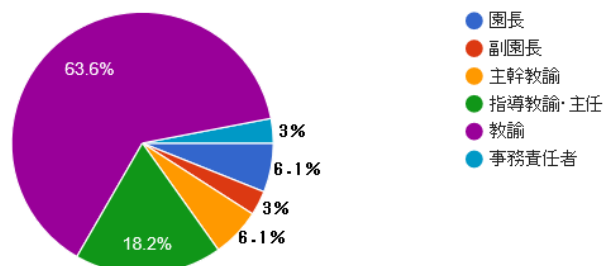
- ・昨年度のアンケート調査では、ほとんどの参加者から研修会に参加して良かったとの回答を得ていた。
- ・今年度、研修会参加者63名に対しアンケート調査を行ったが、回答があったのは、そのうちの52.3%となっており、目標の80%から大きく乖離した。
- ・アンケート結果の内容は、以下のとおりである。

(設問1)あなたの役職について教えてください。

- ・回答を得た役職の中で、教諭が最も多く、63.6%に達し、続いて指導教諭・主任の18.2%となった。

問① あなたの役職について教えてください。

33件の回答

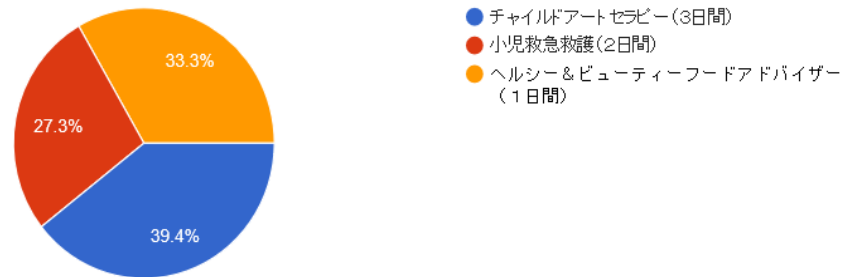


(設問2)あなたが取得された資格(受講された講座)を教えてください。

・回答を得た資格の中で、チャイルドアートセラピーが最も多く、39.4%となっており、続いてヘルシー&ビューティーフードアドバイザーが33.3%、小児救急救護が27.3%であった。

問② あなたが取得された資格(受講された講座)を教えてください。

33件の回答



(設問3)あなたが取得された資格の活用状況を教えてください。

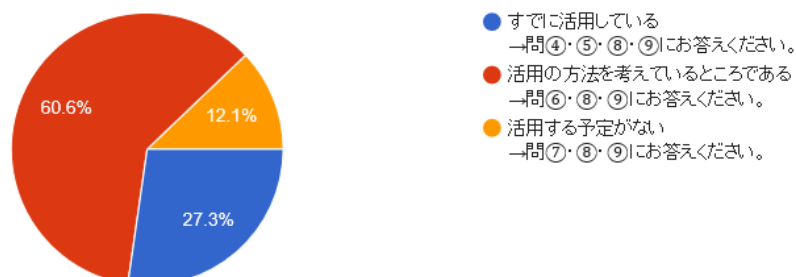
・回答を得た資格の活用状況の中で、「活用の方法を考えている」との回答が最も多く、60.6%となっており、続いて「既に活用している」との回答が27.3%となっていた。

・既に活用していると回答された先生の中で、取得された資格は小児救急救護が55.6%と最も多かったことから、園児たちの救急救護のため必要な資格であることが判明した。一方、活用の方法を考えていると回答された先生の中で、取得された資格は、チャイルドアートセラピーが45%で、ヘルシー&ビューティーフードアドバイザーが35%と続いた。

・活用する予定がないとの回答も12.1%に上った。

問③ 取得した資格の活用状況について。

33件の回答



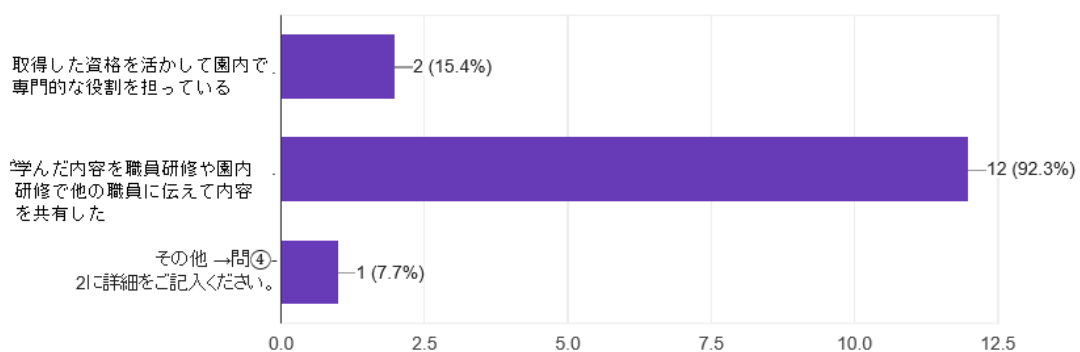
※(設問3)で「既に活用している」と回答した方のみ

(設問4)あなたは取得した資格をどのように活用されましたか。

- ・学んだ内容を職員会議や園内研修で他の職員に伝えて内容を共有するつもりであるとの回答が92.3%と最多であった。
- ・また、取得した資格を活かして園内で専門的な役割を担うつもりであるとの回答が15.4%であった。

問④ どのように活用されましたか。(複数回答可)

13件の回答



※(設問3)で「既に活用している」と回答した方のみ

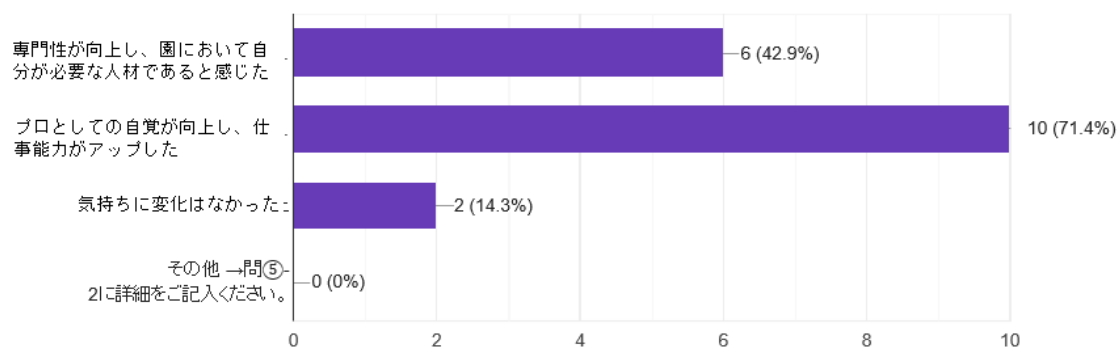
(設問5)取得した資格の活用により、あなたの気持ちはどのように変化しましたか。

- ・プロとしての自覚が向上し、仕事能力がアップしたとの回答が最も多く、71.4%に達し、続いて専門性が向上し、園において自分が必要な人材であると感じたとの回答が42.9%であった。
- ・「プロとしての自覚が向上し、仕事能率がアップした」と回答された先生の取得された資格は、ヘルシー&ビューティーフードアドバイザーで50%に上り、また「専門性が向上し、園において自分が必要な人材であると感じた」と「プロとしての自覚が向上し、仕事能率がアップした」と両方回答された先生が4人おられ、そのうち3人が小児救急救護の資格取得者であった。
- ・一方で気持ちに変化はなかったとの回答も14.3%あった。

問⑤ 取得した資格を活用したことにより、あなたの気持ちにどのような変化がありましたか。

(複数回答可)

14件の回答



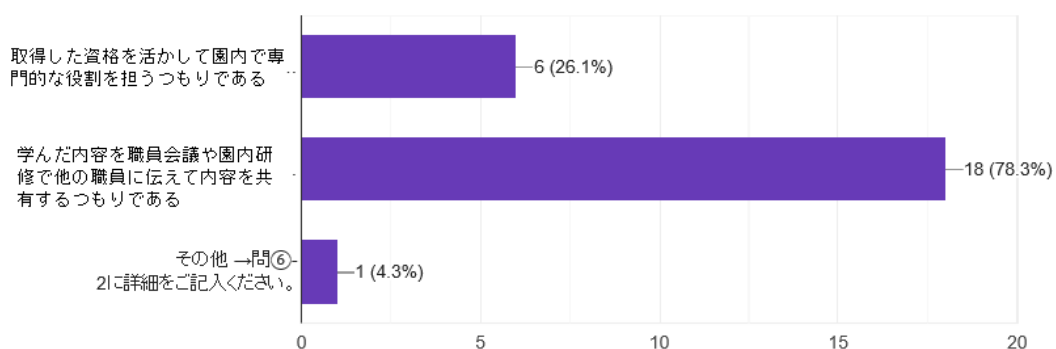
※(設問3)で「活用の方法を考えているところである」と回答した方のみ

(設問6)取得した資格をどのように活用しようとお考えですか。

・学んだ内容を職員会議や園内研修で他の職員に伝えて内容を共有するつもりであるとの回答が78.3%と最も多く、続いて取得した資格を活かして園内で専門的な役割を担うつもりであるとの回答が26.1%であった。

問⑥ どのように活用しようとお考えですか。(複数回答可)

23件の回答



※(設問3)で「活用する予定がない」と回答した方のみ

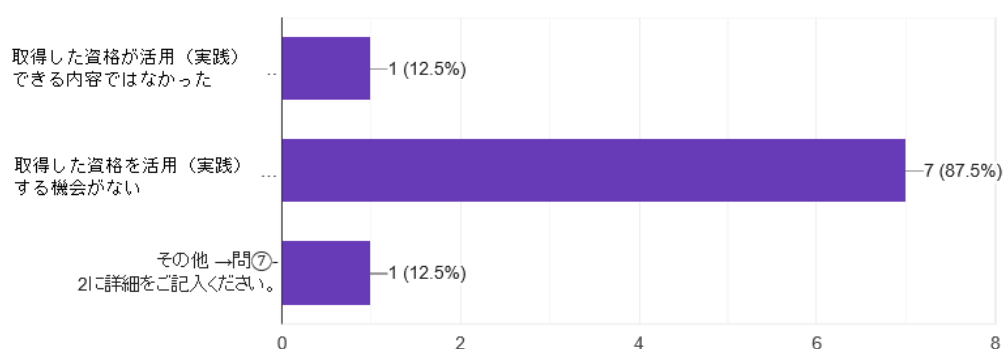
(設問7)その理由はなぜですか。

- ・取得した資格を活用(実践)する機会がないが最も多く、87.5%に上り、その中で71.4%がチャイルドアートセラピーの資格取得者であった。
- ・取得した資格が活用(実践)できる内容ではなかったとの回答もあった。
- ・その他では、継続して学ぶ内容であるとの回答であった。

図 I-7 資格の活用状況

問⑦ その理由はなぜですか。(複数回答可)

8件の回答

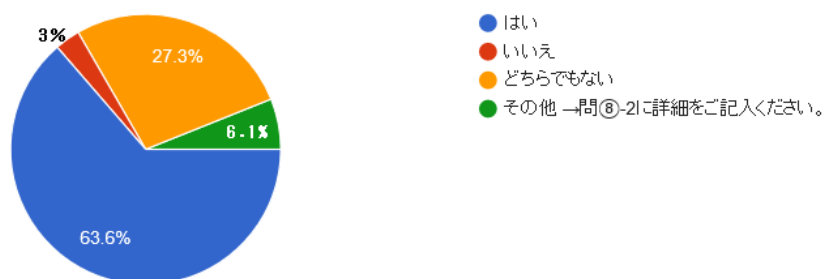


(設問8)研修を受講したことで、幼稚園教諭を続けたいと感じましたか。

- ・幼稚園教諭を続けたいと感じたとの回答が63.6%で最も多く、どちらでもないとの回答が27.3%と続いた。
- ・その他では、特にそのような意識を持つことはないとの回答であった。

問⑧ 研修を受講したことで、幼稚園教諭(保育教諭)を続けたいと感じましたか。

33件の回答



⑤ 今後の課題

- ・取得した資格を幼稚園において活用する機会がないという意見が多く見られたことから、幼稚園ですぐに活用できる資格を研修項目に加えることが必要である。
- ・小児救急救護の資格は、園児たちが救急な救護が必要となった場合に活躍する資格であることから、万が一に備えて大変重要な資格であるが、そのような事態が起こらないようにすることが一番大切なことであり、事故を未然に防止するための態勢整備にも心掛けることが必要である。

Ⅲ 「幼稚園の人材確保支援事業」を実施して

文部科学省令和元年度委託事業「幼稚園の人材確保支援事業」を報告書のとおり実施した。これらの事業は、短期間で成果を上げることは難しいと思われ、継続的な取組みが必要である。

計画した事業は、新型コロナウイルス感染症が福岡県にも拡大したことにより、幼稚園再就職応援イベントのうち、スペシャルトークや幼稚園で働く魅力及び個別相談ブースを中止するなど、一部に実施できないものもあった。

そのような再就職応援イベントにおいても、開催日前日にはイベントの開催の有無について電話による問い合わせが複数あるとともに、中には幼稚園で再就職したいと考えているが、幼稚園の求人情報が出ているのか等の問い合わせもあった。また、イベント当日にも幼稚園での再就職希望者が来場され、会場におられた園長先生にいろいろな質問をされるなど、イベントの一部中止にも拘わらず、一定程度の成果を挙げることができた。

特に、幼稚園ナビの利用拡大については、所期の目標（新規登録者数750件）を大幅に上回る1,132件（令和2年3月18日現在）の新規登録があり、不特定多数の方々に向けて種々の方法でPR活動を行った成果であると考えられる。

さらに、再就職応援イベントの実施に当たって受けた複数の再就職希望者からの問い合わせ内容から推察すると、再就職希望者は、教員免許状更新制度の詳細や幼稚園ナビの登録及び活用方法、具体的な求人案件などについて、個々人の状況に応じたきめ細かな支援を求めていることが分かった。

このことから分かるように、全体向けの講演会も必要ではあるが、今回のような個別相談ブースを設けるなど、個別具体的な相談に対応できる態勢づくりを構築できたことは非常に有意義であったと考えている。また、このような個別相談ブース等具体的な相談に対応できる態勢づくりを、定期的に行った方がより効果的ではないかと思われる。

今後は、講演等の一過性のものではなく、常に再就職希望者へのフォローができるような態勢づくりの必要性が感じられた。

一方で、潜在的幼稚園教諭の掘り起こしも必要なことではあるが、幼稚園教諭養成校に入学する学生等が減少してきていることから、幼稚園教諭の魅力ややりがいを広く中・高校生にPRし、幼稚園教諭養成校に入学する学生を増やす手法を検討することは大変重要なことである。